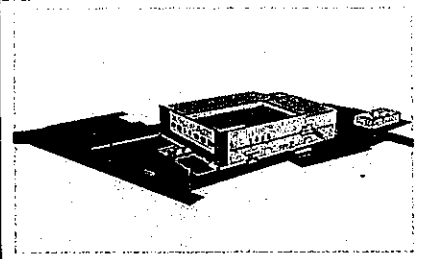


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	梅の花 京都セントラルキッチン 新	階数	地上2F
建設地	京都府綴喜郡井手町大字多賀小字	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,015 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2017年10月27日
敷地面積	10,411 m <sup>2</sup>	作成者	坂下 和昭
建築面積	3,010 m <sup>2</sup>	確認日	2017年11月1日
延床面積	5,746 m <sup>2</sup>	確認者	坂下 和昭



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.5</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q のスコア = 2.3**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 1.9	Q2のスコア = 2.6	Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 2.7**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 2.8	LR2のスコア = 2.7	LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b></p> <p>環境負荷低減のための資源・マテリアルや敷地外環境に重点を置き、環境設計を進めます。</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>室内環境の空気質を考慮し、積極的にF☆☆☆☆を採用します。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>天井高さによる快適さを考慮し、CH2,700以上の天井高さを確保します。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>敷地の25%以上の緑地を確保する。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>再生可能エネルギーとして、太陽光発電を設置します。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>有害物質を含まない材料を積極的に使用します。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>交通負荷抑制のため、敷地内に駐車場・駐輪場・荷捌き等のエリアを設け、交通の負荷の低減を図ります。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される